

ふるさと講座自然系第3回目

「冬の野鳥観察会～海カモメ・海ガモ・ 海ワシを見よう！」



- 日 時 平成30年2月11日(日)
午前9時30分～13時30分
- 場 所 尾岱沼から風蓮湖にかけての漁港や海岸線
- 日 程 9:30 集合:別海町観光船乗場(尾岱沼港町232)
観察:尾岱沼漁港～風蓮湖まで
13:00 到着:別海町観光船乗場
昼食:有志の方によりコマイ汁の調理をお願いしています。
- 定 員 13名(2月9日(金)までに電話・FAX・メールにて氏名・電話番号をご連絡
ください。)
- 参加料 500円(保険代とコマイ汁材料代)
- 持 物 双眼鏡・図鑑(当館で若干貸出しします。)長靴を必ず着用ください。
観察場所への移動は、当館で行いますが、自家用車での移動もできます。

然の営みが見えてきます。私の講演では、皆さんに分かりやすく、別海町の海岸地形の

平成29年度企画展

「小澤彦三が見た昭和初期のべつかい」

移動巡回展のお知らせ!

- 西公民館 1月30日(火)～2月13日(火)
- 中西別ふれあいセンター 2月15日(木)～3月1日(木)
- 中央公民館 3月6日(火)～3月19日(月)



小澤彦三氏は、明治36年(1903)5月10日山梨県小澤村生まれ。昭和2-3年(1927-28)頃帯広の金物店に勤めました。その後、別海村春日に店を開き、中西別広野に移りました。若い頃からドイツ製のカメラを持ち、地域の様々な出来事を撮影していました。

昭和4年(1929)～昭和30年(1955)頃の別海・中西別・上春別地区の様子で、これまでに町史・地域史に使用されるなど別海町の開拓の歴史を語る上では欠く事の出来ない資料となっていました。

ウィンタースクール

「化石のレプリカを作ろう！」を実施しました。

1月12日（金）参加者16名により、所蔵資料のマンモスゾウ臼歯化石とアンモナイトを活用し、化石のレプリカを作る講座を小学生対象に実施しました。

マンモスゾウ臼歯化石はあらかじめ石膏で作成したものを整形する作業と着色を行いました。アンモナイト化石は、シリコン製の型に自分で石膏を流し込んでもらいました。10分程度でかたまり、型からはずしやすりなどで整形しました。一部の参加者は着色を行いました。時間の都合上完成することは出来ませんでした。自宅で着色し冬休みの工作として出品するそうです。

右下写真（本物そっくりに出来上がりました。）



加賀家文書歴史講座

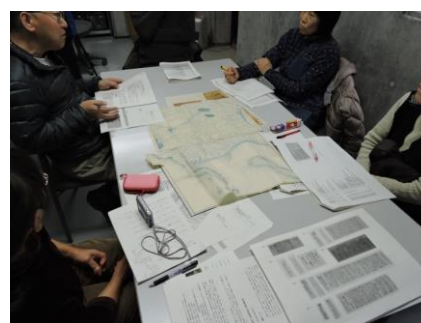
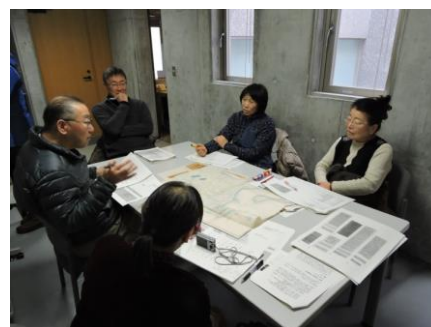
「北海道の名付け親、松浦武四郎の資料を見よう」を実施しました。

1月27日（土）加賀家文書館にて実施しました。参加者は5名でした。

2018年（平成30年）は、「北海道」と命名されてから150年の節目を迎えます。

北海道はかつて「蝦夷地」と呼ばれていましたが、1869年（明治2年）に幕末の探検家松浦武四郎が意見書を明治政府に提案し「北海道」と命名されました。

「加賀家文書」には、松浦武四郎に関する資料が多く残り、加賀家3代目の加賀伝蔵は、「蝦夷地の開拓」や「アイヌ民族」に対する理念が一致し、信頼関係があったことが伺えます。本講座では、資料を読み、実際に見ることにより理解が深まったと思います。



別海町郷土資料館だより No.223

発行日 平成30年2月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

雪が例年より少ないですが、寒さは厳しいようです。オジロワシ・オオワシも着々と飛来し青い空を飛びまわり、美しい姿を見せてくれます。2月の観察会で見れるといいなあと思います。これから大雪の季節に突入するのでしょうか？ ちょっと心配です。（石渡）